

学校教育目標

平成31年4月
調布市立上ノ原小学校
校長 寺本喜和

(平成31年度 学校経営方針)

〈経営理念〉

- ・子どもたちに … 「生きる力」の基礎を
- ・教職員に … チームで働く喜び、やりがい
- ・保護者・地域に … 学校への信頼と安心を

☆**知**よく考え進んで学習する子ども
徳思いやりをもち仲良くする子ども
体健康で明るく元気な子ども

☆70周年の機会を活かした教育活動を行い、
学校や地域への愛情を培う1年に☆

取組の重点

徳 自己肯定感を高める 互いの違いを認め合う

○特別支援教育の推進・インクルーシブ教育の推進

- ・教育相談、関連機関との連携 ※すこやか、相談所、通級
- ・校内委員会での情報の共有、コーディネーターが核となって、SCやSSを活用し、全校での支援体制をつくる。
- ・個別指導計画及び個別の支援計画の作成、実施

○規範意識を育てる全校的な取組

- ・「上小スタンダード」の徹底、生活指導事項の徹底。
- ・差別や偏見、いじめを許さない指導 組織的な対応
- ・道徳科の授業・評価の充実

○自他の違いと良さを尊重する取組

- ・友達や他の人々との関わりかたについて考えさせる
- ・協力する喜びを感じることができる活動
- ・一人一人が活躍できる場をつくる

知 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善

○子どもが実感する「分かる、できる」を育てる授業

- ・1時間ごとのねらいを全員が達成する授業の実現
- ・タブレット端末・ICT機器を活用した授業の推進
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫

○思考力・判断力・表現力を育成する授業

- ・主体的・協同的（対話的）な学びを多く取り入れた授業
- ・根拠を明確にした理由を主張する言語活動を取り入れる
- ・読書活動の推進（活字に慣れ親しむ）・充実
- ・校内研究活動を活発にし、OJTを通して、教員の授業力向上を図る。

○地域の教育力を活かした授業の推進

- ・地域の人材や組織の方々をGTとして招く。ボランティアを活用
- ・地域の素材や教材を活用した授業を行う。

体 心身の「調整力」を育てる

○運動の日常化と興味を高める取り組み

- ・休み時間の外遊びをたくさんさせる
- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進
- ・ラグビーワールドカップやラグビーの取り組み
- ・体育行事（持久走、なわ跳び等）の充実

○健康に関わる指導の充実

- ・健康に関する習慣づけを徹底する
- ・食育の充実、いのちと心の教育月間の取組
- ・（食物）アレルギーに対する理解を深める

○体育授業の充実

- ・運動能力調査等の結果を指導の改善に生かす。
- ・十分な運動量を確保した体育授業を行う。

〈目指す学校の基盤づくり〉

保護者・地域との連携

- PTAとの連携
- 地域組織（まちづくりの会、健全、開放）との連携
- 保・幼、小中との連携
- 情報発信（HP、〇〇便り、メールシステム）
- 学校を開く（学校公開、評議員会、評価委員会）
- 地域学校協働本部の立ち上げと運営

安心・安全な学校

- いじめを許さない学校
(学校いじめ防止対策基本方針に基づく)
- 不審者を入れない学校
- 自分の命を自分で守る子どもの育成（防災教育）
- 地域で子どもを守る体制の継続
- 事故やけがが少ない学校

美しい環境の学校

- 言語環境（大人が手本） あいさつ 言葉遣い
- 歌声のあふれる学校 ○笑顔のあふれる学校
- 校内環境・教室環境の整備 整理整頓の行き届いた
- 緑の多い学校（花、木） ○教材の整備、活用
- 校舎、校庭等の適切な修繕・整備
→ 大規模校にふさわしい施設の整備